

 市場価格

ドル建て ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	1012.00	2023/6/12
High	1012.00	2023/6/12
Low	965.90	2023/6/15
Close	986.50	2023/6/16

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4538.00	2023/6/12
High	4538.00	2023/6/12
Low	4372.00	2023/6/14
Close	4498.00	2023/6/16

ドル建て ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1319.60	2023/6/12
High	1425.00	2023/6/16
Low	1305.90	2023/6/12
Close	1411.00	2023/6/16

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	5910.00	2023/6/12
High	6494.00	2023/6/16
Low	5846.00	2023/6/12
Close	6433.00	2023/6/16

 ニュースエクスプレス

南アフリカのプラチナ生産は2024年には回復へ、シバニェの CEO

今年の南アフリカの PGM 生産は電力危機で 2割減るとされているが、2024年には回復するとの見方を、シバニェ・ステイルウォーター（SSWJ）のCEO、Neal Froneman が示した。

要約:

- 今年の南アフリカの PGM 生産はマイナス 20%
- 世界のプラチナの供給不足は 31.1トンの予測
- 南アフリカの電力危機、ロシアからの供給減
- 南アフリカのビジネス界が電力危機解消に助力

<https://www.reuters.com/markets/commodities/sibanye-ceo-expects-saficas-platinum-output-rebound-2024-2023-06-15/>

ジムブラッツ、1億3000万ドルの新たなプラチナ選鉱設備に着手

鉱山大手のイムブラッツグループの ZIMBABWE Platinum Mines (Private) Limited (ジムブラッツ)は、原料鉱物の有効性を大きく向上させるため、18億ドル規模の生産拡大計画の一環として 3 番目の選鉱工場に着手した。

新たな第3選鉱工場の建設費用は 1億3000万ドルで、年間最大生産能力は 0.9トン。

選鉱工場では目的とする有効な鉱物や金属をプラチナ鉱石から分離し、残りを選鉱クズとして処理する。

<https://www.newzimbabwe.com/simplats-updates-platinum-beneficiation-value-addition-commissions-us130m-plant/>

Great Dyke、Darwendale Platinumに1億ドル投資

ジンバブエの GREAT Dyke Investments (GDI)は、Darwendale プラチナ鉱山に、投資計画全体の5分の1となる約1億ドル(19億ランド)を投資する。

GDIの 鉱山プロジェクトリーダーで、COO である Munashe Shavaは、「この鉱山開発の価値は現在、25 億ドル(475 億ランド) 以上、鉱山需要は 50年～60年以上とされている。」と鉱山視察中にジャーナリストらに語った。

Shava 氏はまた、この数十億ドル規模のプロジェクトからロシアの VI Holdings が抜けて以降、外国資本の誘致はしていないとも語った。ウクライナへの侵攻に絡んで世界的規模で行われた対ロシア制裁の後に、VI Holdings は、当初は 50%ずつとされていたジョイントベンチャーから昨年6月に手を引いている。ロシア資本が抜けた後にはジンバブエ政府が65 %を保有する Kuvimba Mining House (KMH) が GDI の主導権を握った。

https://www.heresus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20230605.pdf#modytrnd=AyulaRvILCwmnHvHC4hNkU0UpnTxcjB04SInevK5I

PPLT: プラチナの展望は良好も勢いは弱い

中国がコロナ対策を緩和して以来、プラチナ価格は2023年初めから中国経済の回復の様子と大きく連動している。中国の経済活動が活発になればプラチナ需要を支えることになるが、中国の製造業セクターは様々な問題に直面しており、経済回復が順調に進まない可能性もある。したがって、2023年は大幅なプラチナ供給不足となるとされているが、abrdn Physical Platinum Shares ETF (NYSEARCA:PPLT) を保有したままで構わないだろう。供給不足は明らかにプラチナ価格を押し上げるだろうが、パラジウムとの価格差が小さいこと、電動自動車へのシフトがプラチナのパフォーマンスに影響する可能性もある。

要約:

- PPLT はプラチナを物理的に保有することなしにプラチナの動きを追って投資することができる便利なツール
- 年初からのプラチナ価格の動きは中国の経済回復を反映
- 中国経済の回復に関しては明確様々な見方があり、さらに記事中のその他の要因などから、PPLT は保有を奨励

<https://www.hdrreit.com/news/subsided-outlook-for-palladium-platinum-with-more-upside-potential-commerbank-30230606021>

南アフリカのファンド、ドル建てプラチナ価格下落にも、供給不足に確信

ドル建てプラチナ価格は4月21日以来、7.6% 下落しているが、ランド建てでは過去最高の 21,309ランド/オンスとなった。その期間、南アフリカのETFは4.0トンが買われ、年初からの保有は13.0トンに増えた。4月は過去4年間で最高の出来高となりその勢いは衰えていない。南アフリカが冬を控え、エスコンの電力危機が顕化すれば、鉱山生産に影響を及ぼしかねなく、プラチナ価格の変動は大きくなる可能性がある。今年にはプラチナの供給不足が予測されており、生産が予想外に減ればさらに価格を押し上げる可能性もある。

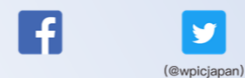
https://www.heresus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20230612.pdf#modytrnd=P00P9P7jgATYtP2f1_mNoOXKv3rPlUJ0EU1U5

Translated by Kazuko OSAWA

 WPIC直近の活動

今年3月に2年から5年先の需給予測を発表したが、それ以来供給と需要の予測はともに減っている。2024年～2027年が供給不足という見直しは変わらないが、前回のレポートではこの期間の不足は、平均で供給の7%に達するとしたが、今回の不足はさらに増え、供給の83%が不足するという結論に達した。詳しくは「[プラチナ投資のエッセンス \(WPICによる2年から5年間のプラチナ需給見直しの更新：今後も続く供給不足\)](https://platinuminvestment.com/files/443834/WPIC_Platinum_Essentials_June_2023.pdf)」をご覧ください。

https://platinuminvestment.com/files/443834/WPIC_Platinum_Essentials_June_2023.pdf



免责声明: 本資料は機密情報に過ぎず、WPICの投資勧誘を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。